


第1回報告

<p>テーマ</p>	<p>「部落の歴史から学ぶ」 ～尼崎市域を中心として～</p>	
<p>日時</p>	<p>平成 27 年 7 月 27 日 (月曜日) 午前 10 時から 12 時 00 分まで</p>	
<p>場所</p>	<p>尼崎市立地域総合センター南武庫之荘 集会室</p>	
<p>講師</p>	<p>公益社団法人尼崎人権啓発協会事務局次長 三澤 雅俊さん</p>	
<p>参加者</p>	<p>73名(内訳 登録者9人、職員研修8人、啓発リーダー43人、市民他13人)</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>じんけんスタディツアーの出発式とともに、尼崎市域を中心とした部落の歴史から、部落についての理解を深め、今なお差別をする理由となっている偏見が誤っていることについて考え、人権意識を高めることを目的に実施しました。</p>	
<p>実施内容</p>	<p>1 出発式 あいさつ(屋田協働・人権担当部長、千木良武庫地区人権推会長) 人権スタディツアーの説明(司会者)</p> <p>2 講演内容 初めに講師から、部落の歴史を学ぶ意味について、部落の歴史を学ぶことは、あそこが部落だったのか、これから気をつけよう、子供の結婚の時は反対しようということではなく、今なお差別する理由になっている偏見が正しいのかを学び、差別をなくしていく立場になってもらうために歴史を学んでほしいという話がありました。</p> <p>その後、古代・中世の賤民、近世から史料上出てくる尼崎市域のかわた村についての話、江戸期を通じて飢饉のあるたびに差別が強化されていったこと、かわた村の人々の仕事とくらしなどが史料に基づいて説明されました。また、明治維新後の「解放令」、部落学校、融和事業、米騒動、全国水平社創立までを、時間の都合もあり話されました。最後に、差別をなくしていくために、差別を理由付けしていた偏見を取り除くこと、差別はしないというだけでなく、差別をなくしていく側の人になってほしいという言葉で閉められました。</p>	

<p>参加者からの感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで生半可な知識だったが、今回の講演会で正しく教えてくれた。 ・ わかりやすく説明してくれた。 ・ 差別が人間関係をあやうくすることが多いので、正しく認識することが大切と思った。 ・ （部落の歴史）最近あまりなかったので良かった。 ・ 身近な地域の話でよかった。 ・ 自分の住む地域のことを学びたかった。差別をなくしていきたい。子ども達に正しく伝えてあげたい。 ・ できれば現在の部分まで時間配分して欲しかった。 ・ 私自身、親から間違った情報（部落差別について）を教わってきたと思っています。自分の子供たちには差別のない社会で育てほしいと思います。 ・ 新しい歴史が知れた。自分が生まれ育った場所や友人のことも含めて、改めて振り返るいい機会になりました。 ・ 大変わかりやすい講義であったと思いますが、時間的に聞けなかった部分があったのが残念でした。
<p>成果と課題</p>	<p>啓発リーダー研修と併せて実施したので、予想以上の参加を得ることができ、また、当日会場でスタディーツアー登録者が6人あったこと、部落問題への意識関心が高まったことが成果としてあげられる。</p> <p>課題として、次回以降の参加登録者を増やすためのPRと、聴覚障がい者が登録しているの、チラシ等に手話通訳が必要な場合、申込時に連絡あれば用意する旨を記載する。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員研修、武庫人権推啓発リーダー研修としても位置づけ実施しました。